

令和 6 年度第 3 回浜松市博物館協議会 会 議 録

第1 開催日時

令和 7 年 3 月 4 日（火）午後 1 時 30 分から午後 3 時 10 分まで

第2 開催場所

浜松市博物館 2 階会議室

第3 出席状況

（出席委員）

笹原恵、高橋靖博、田中裕二、西田かほる、二本松康宏、渡部いづみ

（欠席委員）

廣瀬憲雄、山本久美子

（事務局）

鈴木一有博物館長、五明徹弘博物館長補佐、
鈴木奈々主任、橋本充悠主任、中村浩章主任

（浜松市博物館アドバイザー）

富田和俊

第4 傍聴者

なし

第5 議題、内容及び結果

- (1) 史跡蜷塚遺跡の再整備事業について
- (2) 令和 7 年度博物館事業予定等について
- (3) 最近の博物館事業について
- (4) その他

意見、質問の詳細は「第 8 発言内容」のとおり。

第6 会議資料の名称

- 1 資料 1-1 史跡蜷塚遺跡の再整備事業
- 2 資料 2-1 令和 7 年度事業計画予定
- 3 資料 2-2 令和 7 年度事業評価
- 4 資料 3 史跡蜷塚遺跡の再整備事業に伴う調査研究事業等
- 5 資料 4 令和 5 年度事業評価（館報掲載原稿確認）

第7 発言内容記録方法

文字 / 録画 / 録音

第8 発言内容

1 開会

博物館長補佐 （開会）

博物館長補佐 本日の会議だが、事務局で会議録を作成するため、録音させていただく。

博物館長補佐 浜松市博物館条例第 21 条第 1 項の規定によれば、本会議の議長は会長だが、議事に入るまでの間、私が司会を務める。

博物館長補佐 定足数の確認を行う。
全委員 8 人中、6 人が出席であり、浜松市博物館条例第 21 条第 2 項で規定する定足数に達しているため、本会議は成立する。

2 挨拶

博物館長 （挨拶）

3 議事

博物館長補佐 ここからは、笹原会長に議事進行をお願いします。

笹原会長 議事の進行を務めるので、皆様のご協力をお願いしたい。

まず、会議録署名人の指名について、会長が指名した1名が署名を行うことになっている。

本日の会議録の署名は、名簿順で渡部委員にお願いする。

現在傍聴人はいないが、「浜松市附属機関の会議の公開に関する要綱」第3条第1項により、当会議は原則的に公開である。

ただし、事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるもの、市の機関及び国等の審議、検討又は協議に関する情報で公にすることにより、意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるものなどの「非公開情報」を扱う場合は、その全部又は一部を非公開にすることができるかとされている。

本日は、これに該当する部分のみ非公開にすることとするが、異議はないか。

委員 (異議なし)

(1) 史跡蜷塚遺跡の再整備事業について

笹原会長 それでは、議事の1番目、史跡蜷塚遺跡の再整備事業について、事務局から説明をお願いします。

博物館長補佐 (資料に基づき説明)

笹原会長 質問等はあるか。

委員 (特になし)

(2) 令和7年度博物館事業予定等について
(非公開)

(3) 最近の博物館事業について

博物館長 (資料に基づき説明)

笹原会長 質問等はあるか。

高橋委員 博物館の講座に参加して体感することによって、
口コミなど横に広がっていくと思う。
どのような人が参加しているのか。

博物館長 コアなファンと、新規来館者や親子連れが半々程度。
常設展の深い解説を入れて、満足度を上げつつ観
覧者の増加につなげることを狙っている。

渡部委員 定期的に解説ツアーなどをやっているのか。

博物館長 蜷塚遺跡の解説ツアーを2か月に1回実施してい
る。

渡部委員 三内丸山遺跡では1日数回、詳しい解説を受けら
れる見学ツアーがあり、一人で見学するよりも興
味が深まった。
来館者が多い時期だけでも来館者向けの解説があ
ると、より興味を持ってもらえるのではないか。

博物館長 学校の長期休暇の時期や文化の日など、年に数回
の無料開放日に館内ガイドツアーを実施してい
る。

笹原会長 浜松市の観光ボランティアは館内にいるのか。

- 橋本主任
浜松市の観光ボランティアではなく、博物館ボランティアがいる。
登録は50人程度で、学校見学時や土日に館内ガイド等を行ってもらうことが多い。
- 博物館長
最近の研究結果等を展示に反映したため、定期的なガイドを実施していきたい。
直近では春休みの体験館で蜷塚遺跡、小展示等のガイドを予定しており、体験を含めて1日楽しめるように誘客を図っている。
- 二本松委員
1日楽しむために昼食をどこでとるのか。
館内や公園にレストランやキッチンカーなどがないため飲食ができず、昼に帰ってしまうのではないか。
来館者はどのくらい滞在するのか。
レストランやカフェがあれば1日過ごせるのではないか。
- 博物館長
館内での食事は禁止しているが、天気がいい日は近所の惣菜店でお弁当を買って公園で食事してもらうことができる。
現状、来館者は2時間以上滞在することは少ない。
惣菜店など食事も含め、協力体制を少しずつ広げていきたい。
- 二本松委員
外で食事をできる時期は限られる。
蜷塚エリア全体で近隣の飲食店とも協力してほしい。
食事ができないのは博物館として致命的である。

笹原会長 学校と連携することも検討してほしい。

西田委員 体験館などで実施している内容について、事業計画で詳しく触れられていないのはもったいない。今後もイベントや講座開催の取り組みを継続してほしい。

富田アドバイザー 今年度は連携がうまくいっているように感じる。博物館リニューアル基本構想でも挙げられているが、連携は特に重要である。博物館だけでなく企業や団体とトライアンドエラーで続けてほしい。カフェ等の食事場所についても、地域全体で連携して進めていけば、良いものができると思う。

(4) その他

笹原会長 「その他」について事務局から何かあるか。

事務局 (特になし)

4 閉会

会議録署名人

(署名又は記名押印)